

4. 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

イ 男女別在籍者数（令和6年5月1日現在）

性別	1年次	2年次	3年次	4年次	計
男	134	147	148	143	572
女	46	65	91	79	281
計	180	212	239	222	853

※休学者の数は在籍者の内数

ロ 出身地別在籍者数（令和6年5月1日現在）

出身地	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
山形県内	村山	43	47	48	45	183
	最上	14	13	17	11	55
	置賜	25	30	32	30	117
	庄内	45	60	65	58	228
	小計	127	150	162	144	583
山形県外	北海道	1				1
	青森県	3	2	6	3	14
	岩手県	3	5	7	8	23
	秋田県	17	25	34	28	104
	宮城県	4	5	3	5	17
	福島県	10	13	11	19	53
	千葉県				2	2
	東京都				1	1
	神奈川県	4			3	7
	新潟県	2	1	2		5
	石川県			1		1
	福井県	2	1			3
	山梨県				1	1
	長野県	2	2	2		6
	愛知県		2	1		3
	大阪府		1			1
	兵庫県			1		1
	奈良県	1				1
	福岡県		1			1
	熊本県			1		1
	大分県	2		3	2	7
	宮崎県	1	2	2	1	6
	鹿児島県				2	2
沖縄県	1	2	2	2	7	
中国				1	1	
ネパール			1		1	
小計	53	62	77	78	270	
計	180	212	239	222	853	

ハ 退学・除籍・休学の状況（令和5年度）（令和6年5月1日現在）

学 年	1年次		2年次		3年次		4年次		計		累計
退学者	3		5		2		8		18		537
除籍者	1		1		0		0		0		46
休学者	春学期 0	秋学期 1	春学期 3	秋学期 2	春学期 0	秋学期 0	春学期 4	秋学期 5	春学期 7	秋学期 8	—

② 公益学研究科〔収容定員 修士課程60名、博士後期課程12名〕

イ 男女別在籍者数（令和6年5月1日時点）

性別	修士1年	修士2年	博士後期1年	博士後期2年	博士後期3年	合計
男	7	3	0	0	1	11
女	3	6	0	0	0	9
計	10	9	0	0	1	20

ロ 出身地別在籍者数（令和6年5月1日時点）

出身地		修士1年	修士2年	博士後期1年	博士後期2年	博士後期3年	合計
山形県内	村山	1	2	0	0	1	4
	最上	1	0	0	0	0	1
	置賜	1	0	0	0	0	1
	庄内	5	6	0	0	0	11
	小計	8	8	0	0	1	17
山形県外	福島	0	1	0	0	0	1
	秋田	1	0	0	0	0	1
	神奈川	1	0	0	0	0	1
	小計	2	1	0	0	0	3
合計		10	9	0	0	1	20

ハ 退学・休学の状況（令和5年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	合計
退学者	1	0	1
除籍者	0	0	0
休学者（春学期）	0	0	0
休学者（秋学期）	0	0	0

ニ 科目等履修生の入学者数（令和5年度）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
7	3	10	5	3	28

(2) 公益学部履修科目

ロカリキュラム(2020・2019年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考(卒業要件等)	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター				
基礎教育科目		スタディー導入科目 [8単位]	●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ[1] ●現代公益論Ⅱ[1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]								必修	8		
		教養科目	I群 [24単位]	哲学[2] 倫理学[2] 文学概論[2] 心理学[2] 日本史a[2] 日本史b[2] 西洋史a[2] 西洋史b[2] 人文地理学a[2] 文化人類学[2] 英国庭園文化論[2] 世界地誌[2]										
			II群 [22単位]	経済学[2] 法学[2] 政治学[2] 社会学[2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] ジェンダー論[2] 環境社会学[2] 教育学[2] 生涯学習概論[2] 特別支援教育[2]										
			III群 [15単位]	数学a[1] 数学b[1] 実用数学a[1] 物理学[2] 天文学a[1] 天文学b[1] 統計学a[1] 統計学b[1] 医学一般[2] 自然地理学a[2] 自然地理学b[2]										
リテラシー科目	外国語科目 [各8単位]	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1]		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ /○中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ [各1]		○英語Ⅶ/OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ [各1]		○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1]				選択必修	8以上	・同一言語8単位必修
	情報科目 [8単位]	●情報リテラシーI[2]		●情報リテラシーII[2]		●基礎プログラミングⅠ[2]		●基礎プログラミングⅡ[2]				必修	8	
地域経営系		系共通科目 [12単位]	○基礎簿記Ⅰ[2] ○基礎簿記Ⅱ[2] ○経営学基礎[2] ○地域福祉論a[2] ○ミクロ経済学[2] ○マクロ経済学[2]											
		経営コース [41単位]		データ分析手法a[1] データ分析手法b[1] 経済史[2] 経営管理論[2] 経営工学a[1] 経営工学b[1] 職場のメンタルヘルス[2] マーケティング論[2] 福祉経営論[2] 環境マネジメント論b[1] 会計学[2] 管理会計[2] 経済学特論a[2] 経済学特論b[2] 金融論[2] 産業組織論[2] 経営戦略論[2] 人的資源管理論[2] 企業法務[2] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2] 企業組織の心理学[2] ゲーム理論[2]										
		政策コース [38単位]		公共経営論[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 行政法[2] 統治機構論[2] 政策入門[2] 国際海洋法[2] 公共系科目演習a[1] 公共系科目演習b[1] 社会政策a[1] 社会政策b[1] 社会保険論Ⅰ[2] 社会保険論Ⅱ[2] 公的年金論[2] 民法Ⅰ[2] 民法Ⅱ[2] 憲法[2] 地方財政論[2] 国際法[2] 国際関係の法と経済[2]										
		地域福祉コース [28単位]		障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] ソーシャルワーク総論a[2] ソーシャルワーク総論b[2] 地域福祉論b[2] 相談援助の理論と方法a[2] 相談援助の理論と方法b[2] 相談援助の理論と方法c[2] 相談援助の理論と方法d[2] 高齢者福祉論[2] 児童福祉論[2] 精神保健学[2]										
専門教育科目		系共通科目 [16単位]	○日本文化論[2] ○観光・まちづくり概論a[1] ○観光・まちづくり概論b[1] ○世界経済事情[2] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] ○サブカルチャー論a[1] ○サブカルチャー論b[1] ○社会調査論a[1] ○社会調査論b[1] ○インターネットと社会[1] ○マルチメディア論[1] ○セキュリティ論[1] ○データサイエンス入門a[1] ○データサイエンス入門b[1]											
		国際教養コース [46単位]	国際関係論[2] 国際協力論[2] 国際ビジネス論[2] アジア経済論[2] 中国経済論[2] 中国語文化論[2] 比較文化論[2] 多文化共生論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] International Economics[2] 国際行政学[2] EU論[2] 海外インターンシップ[2] [語学科目] ■Advanced English Communication[1] ■English PresentationⅠ[1] ■English PresentationⅡ[1] ■Intensive ReadingⅠ[1] ■Intensive ReadingⅡ[1] ■Academic Writing[1] ■TOEIC(中級)[1] ■TOEIC(上級)[1] ■Intensive TOEIC[1] ▲中国語会話(初級)[1] ▲中国語会話(中級)[1] ▲中国語中級講義Ⅰ[1] ▲中国語中級講義Ⅱ[1] ▲中国語リスニング[1] ▲中国語検定対策Ⅰ[1] ▲中国語検定対策Ⅱ[1] ▲中国語上級講義[1] ▲中国語作文[1]											
		観光・まちづくりコース [36単位]	観光産業論a[1] 観光産業論b[1] 観光政策論a[1] 観光政策論b[1] 地域・観光資源論[2] 国際観光論a[1] 国際観光論b[1] 余暇と観光の社会学[2] 民俗学と観光Ⅰ[1] 民俗学と観光Ⅱ[1] グリーンツーリズム論[2] 第六次産業論[2] 自然環境の保全と共生[2] 風景のデザインa[1] 風景のデザインb[1] 中心市街地の再生[2] 中山間・離島地域論[2] NPO・NGO論[2] 社会起業家論Ⅰ[1] 社会起業家論Ⅱ[1] 観光・まちづくり演習a[2] 観光・まちづくり演習b[2] 人文地理学b[2] 日本地誌[2]											
		メディア情報コース [38単位]	ゲームデザインa[1] ゲームデザインb[1] Unix演習a[1] Unix演習b[1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] 数値情報処理a[1] 数値情報処理b[1] 情報デザイン論a[1] 情報デザイン論b[1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データベース論[1] データベース演習[1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムa[1] 情報システムb[1] 情報システムc[1] 情報システムd[1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a[1] 応用数学b[1] 応用数学c[1] 応用数学d[1] 機械学習入門a[1] 機械学習入門b[1] 統計モデリングa[1] 統計モデリングb[1] 機械学習理論a[1] 機械学習理論b[1] 機械学習理論c[1] 機械学習理論d[1] 情報数学a[1] 情報数学b[1]											
専門演習	一般 [8単位]					●専門演習Ⅰ[4]			●専門演習Ⅱ[4]		必修	8		
	留学 [8単位]						○専門演習(留学)Ⅰa[2]	○専門演習(留学)Ⅰb[2]	○専門演習(留学)Ⅰc[2]		○専門演習(留学)Ⅱ[2]	必修	2	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める
発展教育科目		特別プログラム 基礎科目	現代メディア論[2]											
		特別プログラム 社会福祉士養成課程 [20単位]	相談援助演習Ⅰ[2] 相談援助演習Ⅱ[2] 相談援助演習Ⅲ[2] 相談援助演習Ⅳ[2] 相談援助演習Ⅴ[2] 相談援助実習指導Ⅰ[1] 相談援助実習指導Ⅱ[1] 相談援助実習指導Ⅲ[1] 相談援助実習指導Ⅳ[1] 相談援助実習Ⅰ[3] 相談援助実習Ⅱ[3]											
		特別プログラム 応用科目	特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)											
		外国語 発展科目	ロシア語Ⅰ[1] ロシア語Ⅱ[1] ロシア語Ⅲ[1] ロシア語Ⅳ[1] 日本語演習a[1] 日本語演習b[1] 日本語演習c[1] 日本事情[1]	短期語学留学1[*] 短期語学留学2[*]		実践外国語(期間・大学名)*								
人材育成強化科目		キャリア科目 基本科目 [6単位]	●キャリア入門a[1] ●キャリア入門b[1]		●キャリアと人生a[1] ●キャリアと人生b[1]		就職セミナー[2]				必修/選択	10以上	・応用演習科目から4単位以上修得 設置科目数 計295科目 修得単位数 計124単位以上	
		キャリア科目 発展科目 [6単位]			文章表現論[2] 日経講座:メカトレンド論[2] ジャーナリズムの倫理[2]		○インターンシップ1[2] ○インターンシップ2[2] ○インターンシップ3[2] ○インターンシップ4[2]							
		応用演習科目 [16単位]*			○'07' i'型応用演習1[2] ○'07' i'型応用演習2[2] ○競争型課題解決演習1[2] ○競争型課題解決演習2[2]									
		リメディアル科目	●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2								卒業単位外		・修得が義務	

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

□カリキュラム(2023・2022・2021年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	単位数	備考(卒業要件等)
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
基礎教育科目	43科目(58単位)	スタンダード導入科目 [6科目] [8単位]	●基礎演習a[2] ●基礎演習b[2] ●現代公益論Ⅰ [1] ●現代公益論Ⅱ [1] ●山形地域論a[1] ●山形地域論b[1]								必修	8	
		外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ /OEAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ /○中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ [各1]		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ /OEAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ /○中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ [各1]		○英語Ⅶ/OEAPⅦ /○中国語Ⅶ・Ⅷ [各1]		○英語Ⅷ/OEAPⅧ [各1]		選択必修	8	・同一言語8単位必修
		情報科目	●情報リテラシー[2]		●データリテラシー[2]		●基礎プログラミングⅠ [2]		●基礎プログラミングⅡ [2]		必修	8	
		キャリア科目	●キャリア入門a[1] ●キャリア入門b[1]				●キャリアと人生a[1] ●キャリアと人生b[1]		就職セミナー[2]		必修/選択		・●科目は必修 ・共通科目と合わせて30単位以上
		共通科目	アントレプレナーシップ演習1 [2] アントレプレナーシップ演習2[2] アントレプレナーシップ演習3[2] アントレプレナーシップ演習4[2] アントレプレナーシップ演習5[2] アントレプレナーシップ演習6[2]		文章表現法[2] 日経講座：メガトレンド論[2] 現代メディア論[2] ジャーナリズムの倫理[2]							30以上	
専門教育科目	12科目(18単位)	共通専門科目	○問題解決の思考法[1] ○情報発信・ファシリテーションの技法[1] (○から1科目選択必修)		基) 基礎簿記Ⅰ [2] 基礎簿記Ⅱ [2] 社会福祉学a[2] 社会福祉学b[2] 観光・まちづくり概論a [1] 観光・まちづくり概論b [1] 社会調査論a [1] 社会調査論b [1] 中) ミクロ経済学[2] マクロ経済学[2]						選択必修		・○科目のどちらか選択必修 ・○科目を含む6単位以上
		経営コース			基) 経営学基礎[2] 中) 経済史[2] 経営管理論[2] 経営戦略論[2] 経営工学a [1] 経営工学b [1] 職場のメンタルヘルス[2] 環境マネジメント論[1] 企業法務[2] 会計学[2] 管理会計[2] 上) 経済学特論a [2] 経済学特論b [2] 金融論[2] 産業組織論[2] ゲーム理論[2] 人的資源管理論[2] マーケティング論[2] 企業組織の心理学[2] ライフサイクルアセスメント論a [1] ライフサイクルアセスメント論b [1] 企業財務分析[2] 非営利組織会計[2]						62以上(発展教育科目と合算して)	・所属コースから30単位以上(共通専門科目から最大6単位まで算入可能)	
		政策コース			中) 政策入門[2] 社会保障論a[2] 社会保障論b[2] 公的年金論[2] 憲法[2] 統治機構論[2] 行政法[2] 民法Ⅰ [2] 国際法[2] 国際海洋法[2] 行政学[2] 地方自治論[2] 日本政治論Ⅰ [2] 上) 公共経営論[2] 公共系科目演習a [1] 公共系科目演習b [1] 民法Ⅱ [2] 国際関係の法と経済[2] 地方財政論[2] 日本政治論Ⅱ [2]							・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修 【英語、中国語】	
		地域福祉コース			基) 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ [2] 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ [2] 中) ソーシャルワークの理論と方法a [2] ソーシャルワークの理論と方法b [2] ソーシャルワークの理論と方法c [2] ソーシャルワークの理論と方法d [2] 高齢者福祉論[2] 児童・家庭福祉論[2] 障害者福祉論[2] 公的扶助論[2] 医療福祉論[2] 権利擁護と成年後見[2] 刑事司法と福祉[2] 社会福祉調査[2] 福祉経営論[2] 上) 社会政策a [1] 社会政策b [1] 精神保健学[2]							・国際教養コース語学科目他コース学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目： Advanced English Communication TOEIC(中級) TOEIC(上級) 中国語科目： 中国語会話(初級) 中国語会話(中級) 中国語検定対策Ⅰ	
		国際教養コース			基) 日本文化論[2] 世界経済事情[2] サブカルチャー論a [1] サブカルチャー論b [1] 中) 国際関係論[2] 国際協力論[2] アジア経済論[2] 中国文化論[2] 比較文化論[2] アメリカ事情[2] 西洋文学史[2] 多文化共生論[2] 上) 国際ビジネス論[2] 中国経済論[2] International Economics [2] 国際行政学[2] EU論[2] 海外インターンシップ[2]								
観光・まちづくりコース			[語学科目] ■Advanced English Communication[1] ■English PresentationⅠ [1] ■English PresentationⅡ [1] ■Intensive ReadingⅠ [1] ■Intensive ReadingⅡ [1] ■Academic Writing[1] ■TOEIC(中級) [1] ■TOEIC(上級) [1] ■Intensive TOEIC[1] ▲中国語会話(初級) [1] ▲中国語会話(中級) [1] ▲中国語中級講義Ⅰ [1] ▲中国語中級講義Ⅱ [1] ▲中国語リスニング[1] ▲中国語検定対策Ⅰ [1] ▲中国語検定対策Ⅱ [1] ▲中国語上級講義[1] ▲中国語作文[1]		中) 観光産業論a [1] 観光産業論b [1] 観光政策論a [1] 観光政策論b [1] 国際観光論a [1] 国際観光論b [1] 自然環境の保全と共生[2] 中山間・離島地域論[2] 地域・観光資源論[2] 民俗学と観光Ⅰ [1] 民俗学と観光Ⅱ [1] 中心市街地の再生[2] 風景のデザインa [1] 風景のデザインb [1] 観光・まちづくり演習a [2] 観光・まちづくり演習b [2] 人文地理学b [2] 日本地誌[2] 上) NPO・NGO論[2] 第六次産業論[2] 社会起業家論Ⅰ [1] 社会起業家論Ⅱ [1] 余暇と観光の社会学[2] グリーンツーリズム論[2]								
メディア情報コース			基) ゲームデザインa [1] ゲームデザインb [1] Unix演習a [1] Unix演習b [1] 地理情報基礎演習[1] 画像情報処理[1] マルチメディア論[1] データサイエンス入門a [1] データサイエンス入門b [1] 中) 数値情報処理a [1] 数値情報処理b [1] 情報デザイン論a [1] 情報デザイン論b [1] 計算機基礎理論[1] コンピュータシステム論[1] システム開発技術論[1] 企業活動と情報システム[1] データ分析手法a [1] データ分析手法b [1] 情報数学a [1] 情報数学b [1] 上) データベース論[1] データベース演習[1] 情報システムa [1] 情報システムb [1] インターネット論[1] インターネット演習[1] 情報システムc [1] 情報システムd [1] 応用プログラミング[1] データ構造とアルゴリズム[1] 応用数学a [1] 応用数学b [1] 機械学習入門a [1] 機械学習入門b [1] 応用数学c [1] 応用数学d [1] 統計モデリングa [1] 統計モデリングb [1] 機械学習管理論a [1] 機械学習管理論b [1] 機械学習管理論c [1] 機械学習管理論d [1]										
応用演習科目			中級) プロジェクト型応用演習1 [2] プロジェクト型応用演習2 [2] 競争型課題解決演習1 [2] 競争型課題解決演習2 [2]							選択必修		・4単位選択必修	
専門演習	一般		基礎) インターンシップ1 [2] インターンシップ2 [2] インターンシップ3 [2] インターンシップ4 [2] 課題解決実践演習*							上級) 産学連携型長期学外学修			
専門演習	留学		●専門演習Ⅰ [4]							●専門演習Ⅱ [4]	必修	8	
			○専門演習[留学]Ⅰa [2]							○専門演習[留学]Ⅰb [2]	○専門演習[留学]Ⅰc [2]	(2)	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める
発展教育科目	社会福祉士養成課程		中) ソーシャルワーク演習Ⅰ [2] ソーシャルワーク演習Ⅱ [2] ソーシャルワーク演習Ⅲ [2] ソーシャルワーク実習指導Ⅰ [1] ソーシャルワーク実習指導Ⅱ [1] 上) ソーシャルワーク演習Ⅳ [2] ソーシャルワーク演習Ⅴ [2] ソーシャルワーク実習指導Ⅲ [1] ソーシャルワーク実習Ⅱ [2] ソーシャルワーク実習Ⅲ [3]										設置科目数 計308科目 修得単位数 計124単位以上
	外国語	ロシア語	初級) ロシア語Ⅰ [1] ロシア語Ⅱ [1] 日本語演習a [1] 日本語演習b [1]		中級) ロシア語3 [1] ロシア語4 [1] 日本語演習c [1] 日本事情 [1]								
	留学外国語		短期語学留学1 [*] 短期語学留学2 [*]		実践外国語[期間・大学名]*]								
リメディアル科目			●国語基礎 ●数学基礎								卒業単位外	・修得が義務	

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

(3) 公益学研究科履修科目

① 修士課程

科目区分		研究領域および科目名			
共通科目	必修科目	公益学総論 論文作成法 共創の技法			
	選択科目	情報基礎 統計学 社会調査論 哲学 倫理学			
専門科目		組織経営領域	国際関係領域	情報科学領域	地域共創領域
	コア科目	組織経営研究 1 (経済学)	国際関係研究 1 (国際社会論)	情報科学研究 1 (公益情報システム)	地域共創研究 1 (公共性の社会学)
		組織経営研究 2 (経営学)	国際関係研究 2 (多文化共生論)	情報科学研究 2 (人工知能特論)	地域共創研究 2 (社会政策論)
		組織経営研究 3 (組織論)	国際関係研究 3 (文化交渉論)	情報科学研究 3 (多変量解析)	地域共創研究 3 (ソーシャルワーク論)
		組織経営研究 4 (法学)	国際関係研究 4 (グローバル・ガバナンス論)	情報科学研究 4	地域共創研究 4 (地域デザイン論)
	選択科目	組織経営研究 a (財政学)	国際関係研究 a (移民・難民論)	情報科学研究 a (プログラミング特論)	地域共創研究 a (ソーシャルキャピタル論)
		組織経営研究 b (会計学)	国際関係研究 b (国際法)	情報科学研究 b (人間工学)	地域共創研究 b (NPO・非営利組織論)
		組織経営研究 c (行政学)	国際関係研究 c (地域文化研究)	情報科学研究 c (情報数理)	地域共創研究 c (合意形成・
		組織経営研究 d (政治学)	国際関係研究 d (地域政治研究)	情報科学研究 d (自然言語処理)	地域共創研究 d コーディネーション論)
		組織経営研究 e (公共政策論)	国際関係研究 e (国際経済研究)	情報科学研究 e	地域共創研究 d (スクール(学校)
					地域共創研究 e ソーシャルワーク論)
発展科目		スクール(学校)ソーシャルワーク演習* スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導* スクール(学校)ソーシャルワーク実習* プロジェクトa(パートナーシップに基づく地域課題解決の推進) プロジェクトb プロジェクトc プロジェクトd 特別セミナーa 特別セミナーb 特別セミナーc 特別セミナーd			
自由科目		教育行政 生徒指導論 進路指導論 教育心理学 教育相談の理論と方法 精神保健学 児童・家庭福祉論 公的扶助論 教育学			
演習科目		演習Ⅰ 演習(副) 演習Ⅱ 修士論文指導Ⅰ 修士論文指導Ⅱ			

② 博士後期課程

科目区分	科目名
公益学研究科目	公益学研究 a 公益学研究 b(公共経済学) 公益学研究 c 公益学研究 d(社会政策) 公益学研究 e(自治体マネジメント) 公益学研究 f
キャリア科目	キャリアディベロップメント
研究指導科目	研究指導Ⅰ 研究指導Ⅱ 研究指導Ⅲ 博士論文指導Ⅰ 博士論文指導Ⅱ 博士論文指導Ⅲ

(4) インターンシップの実施状況

令和5年度は春学期、秋学期とも「課題挑戦型」と「一般」の2種類のインターンシップを実施。課題挑戦型は現地での実習はせず、企業や地方自治体が提示した課題の解決策づくりにチーム単位で取り組んだ。「一般」は企業、自治体などで5日間程度の実習に臨んだ。

① 課題挑戦型インターンシップ 実施状況

NO	業種	課題提示機関	課題数	チーム数	実習生人数
1	官公庁	酒田市役所	3	4	13
2	福祉	医療法人社団みつわ会	1	1	2
3	サービス	仮設機材工業株式会社	1	1	3
4		株式会社プレステージ・インターナショナル	1	1	3
5	その他	一般社団法人元気インターナショナル	1	2	6
合 計			7	9	27

② 一般インターンシップ 実施状況

NO	業種	企業・団体名	実習生人数
1	官公庁	大蔵村	1
2		酒田市役所	1
3		長井市役所	1
4		南陽市役所	1
5		宮城県庁	1
6		むつ市役所	1
7		山形県村山総合支庁	1
8		山形県最上総合支庁	2
9		由利本荘市	1
10		米沢市役所	1
11	製造	酒田米菓株式会社	1
12	情報通信	株式会社コミュニティ新聞社	1
13		キューブワン情報株式会社	1
14	卸売業	加藤総業株式会社	1
15	小売	ゼビオ株式会社	1
16		トヨタカローラ福島株式会社社会津店	1
17		山形三菱自動車販売株式会社	3
18		株式会社八文字屋	2
19	福祉	社会福祉法人山辺町社会福祉協議会	1
20		社会福祉法人米沢仏教興道会	1
21		特定非営利活動法人がくほれん with 酒田	1
22		特別養護老人ホーム芙蓉荘	3
23	サービス	会津電力工事株式会社	1
24		株式会社アークバル	2
25		株式会社秋田ふるさと村	2
26		株式会社庄交コーポレーション東京第一ホテル鶴岡	1
27		株式会社月見	1
28		株式会社プレステージ・インターナショナル	1
29		株式会社山形ビルサービス庄内支社	1

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
30	その他	米沢商工会議所	1
31		一般社団法人 DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー	1
32		一般社団法人秋田県観光連盟	1
33		一般社団法人気仙沼市観光協会	1
34		一般社団法人酒田観光物産協会	1
35		公益財団法人秋田県国際交流協会	1
36		公益財団法人出羽庄内国際交流財団	1
37		公益財団法人山形県国際交流協会	1
38		庄内観光コンベンション協会	1
合 計			46

(5) オフィスアワーの実施状況

① 公益学部

イ 令和5年度S1クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1時限										
2時限	西村まどか 渋谷周二	B-4 D-1	鎌田剛 広崎心 武田真理子	E-4 A-5 E-2	梅木仁	G-1	張紅	B-1	白旗希実子	F-5
昼休み										
3時限	加藤嘉明 小野英一	<small>地域共創センター</small> B-2	エドモンド・フェック 東江日出郎 門松秀樹 松尾慎太郎 渡辺暁雄 松田憲 古山隆 矢口明子	G-4 I-1 H-4 C-4 H-1 I-4 E-1 A-1	玉井雅隆 白畑真由美	H-2 E-3	森元拓 呉尚浩 松山薫 神田直弥	E-5 A-2 C-3 学長室		
4時限	呉衛峰 <small>パンテイング・ティモシー</small> ノヴァコフスキ・カロール 阿部公一	F-2 D-2 C-1 H-5	山本裕樹 小関久恵 澤邊みさ子	I-5 H-3 A-4			大山慎一	D-5	温井亨	G-3
5時限	植田和憲	I-3	広瀬雄二	B-3					三木潤一	学部長室
6時限			樋口恵佳 18:55-20:40	<small>基本的にはメールで相談して下さい</small>						

ロ 令和5年度 S2 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1時限										
2時限	西村まどか 渋谷周二 大山慎一 加藤嘉明 小野英一	B-4 D-1 D-5 地域共創センター B-2	鎌田剛 広崎心 武田真理子	E-4 A-5 E-2	梅木仁	G-1	張紅	B-1		
昼休み										
3時限			エドモンド・フェック 東江日出郎 門松秀樹 松尾慎太郎 渡辺暁雄 松田憲 古山隆 白旗希実子	G-4 I-1 H-4 C-4 H-1 I-4 E-1 F-5	玉井雅隆	H-2	森元拓 呉尚浩 松山薫	E-5 A-2 C-3		
4時限	呉衛峰 パンティング・ティモシー ノヴァコフスキ・カロール 阿部公一	F-2 F-2 C-1 H-5	山本裕樹 小関久恵 澤邊みさ子	I-5 H-3 A-4			神田直弥	学長室	温井亨	G-3
5時限	植田和憲	I-3	広瀬雄二	B-3			三木潤一	学部長室		
6時限			樋口恵佳 18:55-20:40	基本的にはメールで相談して下さい						

ハ 令和5年度 A1 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1時限										
2時限	西村まどか 渋谷周二 澤邊みさ子 加藤嘉明	B-4 D-1 A-4 地域共創センター	鎌田剛 広崎心 武田真理子 大山慎一	E-4 A-5 E-2 D-5	梅木仁	G-1	張紅	B-1		
昼休み										
3時限	小野英一	B-2	エドモンド・フェック 東江日出郎 門松秀樹 古山隆	G-4 I-1 H-4 E-1	玉井雅隆 渡辺暁雄 白畑真由美	H-2 H-1 E-3	森元拓 呉尚浩 松山薫 松田憲	E-5 A-2 C-3 I-4	張紅 広瀬雄二	B-1 B-3
4時限	呉衛峰 パンティング・ティモシー ノヴァコフスキ・カロール 渡辺伸子	F-2 D-2 C-1 G-5	山本裕樹	I-5			神田直弥 三木潤一 小関久恵	学長室 学部長室 H-3	温井亨	G-3
5時限	植田和憲 阿部公一	I-3 H-5								
6時限			樋口恵佳 18:55-20:40	基本的にはメールで相談して下さい						

ニ 令和5年度 A2 クォーター オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室
1時限	x									
2時限	西村まどか 渋谷周二 澤邊みさ子	B-4 D-1 A-4	鎌田剛 広崎心 武田真理子 大山慎一	E-4 A-5 E-2 D-5	梅木仁 加藤嘉明	G-1 地域共創 センター	神田直弥 松尾慎太郎	学長室 C-4		
昼休み										
3時限	小野英一	B-2	エドモンド・フェック 東江日出郎 門松秀樹 古山隆	G-4 I-1 H-4 E-1	玉井雅隆 渡辺暁雄 白畑真由美	H-2 H-1 E-3	森元拓 呉尚浩 松山薫	E-5 A-2 C-3	広瀬雄二 松田憲 張紅	B-3 I-4 B-1
4時限	呉衛峰 山本裕樹 パンティング・ティモシー ノヴァコフスキ・カロール 渡辺伸子	F-2 I-5 D-2 C-1 G-5					三木潤一 小関久恵	学部長室 H-3	温井亨	G-3
5時限	植田和憲 阿部公一	I-3 H-5								
6時限			樋口恵佳 18:55-20:40	基本的にはメールで相談して下さい						

② 公益学研究科 イ 専任教員

	鶴岡キャンパス	酒田キャンパス
日時	担当科目の 授業開始前の10分 授業終了後の10分	学部のオフィスアワーを参照
場所	授業の教室または講師室	

ロ 非常勤講師

	鶴岡キャンパス
日時	担当科目の 授業開始前の10分 授業終了後の10分
場所	授業の教室または講師室

(6) 研究実績報告

氏名		神田直弥				
職位・コース		教授・メディア情報コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
1 ジュニアドクター鳥海塾 2 年目の活動評価 東北公益文科大学総合研究論集 No. 45 2023 榊原一心・神田直弥・広瀬雄二						
2 電動キックボード運転時のふらつきとブレーキ反応時間-自転車との比較- 東北公益文科大学総合研究論集 No. 46 2024 神田直弥						
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1 天候の違いが駐車場での事故に及ぼす影響(1)-駐車行動の観察 日本交通心理学会地区別研究会論文集-北海道・東北・関東地区- 2023年度, 29-32 2023 情野恵理子・山口慎太郎・神田直弥						
2 天候の違いが駐車場での事故に及ぼす影響(2)-コンフリクトの分析 日本交通心理学会地区別研究会論文集-北海道・東北・関東地区- 2023年度, 33-34 2023 山口慎太郎・情野恵理子・神田直弥						
3 道路舗装の効果的な維持管理に関する研究-路面性状が道路利用者に及ぼす影響を踏まえて- 日本交通心理学会2023年度(第88回)名古屋大会発表論文集 Vol. 88, 33-36 2023 三浦貴史・神田直弥						
4 高齢者講習受講後の目標設定が運転行動に及ぼす影響 日本交通心理学会2023年度(第88回)名古屋大会発表論文集 Vol. 88, 87-90 2023 神田直弥・奥山祐輔・他7名						
5 電動キックボード運転時のブレーキ反応時間-自転車との比較- 日本人間工学会第64回大会 59 巻 Supplement 号 PIE5-13 2023 神田直弥						
6 タブレットを活用した中学校での自転車交通安全教育の実践 日本人間工学会第64回大会 59 巻 Supplement 号 02A7-01 2023 成田怜央・神田直弥						
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本交通心理学会 会員 ・日本人間工学会 会員 ・日本心理学会 会員 ・日本プラントヒューマンファクター学会 会員 ・Human Factors and Ergonomics Society Full Member ・日本交通科学学会 会員 ・航空運航システム研究会 会員 ・国際交通安全学会 会員 						
②各種学会における活動状況						
日本交通心理学会編集委員(平成26年~) 日本交通心理学会運営委員(平成29年~) 日本人間工学会編集委員(平成30年~令和4年)						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	(有) 無		種別: 基盤C 不採択		円	
			種別:		円	
4. その他						
地域課題関係		(地域課題解決のための研究・活動状況)				
		日本交通心理学会が主催する第1回地域ワークショップin弘前(2023.10.6)において、横断歩道での一時停止率の向上に向けたパネルディスカッションを開催し、コーディネータを務めた。雪道における交通事故メカニズムの解明と安全対策の実施に向け、秋田大学の浜岡教授をリーダーとするプロジェクトに参加し、車内支援システムの有効性について検討した。中山間エリア(大阪府能勢町)の高校生を対象に、安全な自転車利用について検討する活動を通して、町と連携した交通安全活動に展開するプロジェクト(プロジェクトリーダーは東京大学北村教授)に参加した。				

氏名	三木 潤一					
職位・コース	教授・経営コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	「令和5年度(総合計画 (前期計画)施策)の行政 評価(外部評価)」	酒田市施策外部評価	全118頁	2023年 (令和5年) 8月提出	東北公益文科大学 公共 経営研究所 研究所員: 三木潤一(所長)・神田 直弥・小野英一・白畑真 由美・小関久恵・小野 敦・永田育	/
2	「地方都市におけるコン パクトシティの可能性 —山形県酒田市における 調査結果—」	DISCUSSION PAPER SERIES (京都産業大学大 学院経済学研究科)	No. 2023-01 全42頁	2023年 (令和5年) 11月	池田晃彦・川崎雄二郎・ 三木潤一	/
3	「令和5年度 酒田市観光 に関する調査研究」	調査研究業務受託(酒田 市) 報告書	2024年2月末 時点で未定	2024年 (令和6年) 3月(予定)	三木潤一・小嶋健太・ 川崎雄二郎	/
国際会議発表論文等						
1	“ Gradient flows in travelers' visitation network: comparison with centrality indices ” 査読有り	10th International Congress on Industrial and Applied Mathematics ICIAM 2023 TOKYO		August 2023	Yujiro Kawasaki, Kenta Kojima and Jun'ichi Miki	混合
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「令和4年度 酒田市観光 に関する調査研究」	令和4年度 酒田市観光に 関する調査研究報告会 (酒田市役所) 調査研究内容報告		2023年 (令和5年) 8月	三木潤一・小嶋健太・ 川崎雄二郎	対面
2	「救急サービス最適化の ための救急隊出動モデル の開発」 招待有り	日本オペレーションズ・ リサーチ学会 「ヘルスケアのOR」研究 部会 第16回研究会		2023年 (令和5年) 10月	川崎雄二郎・萩原茂樹・ 三木潤一	混合
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会 CIPFA (英国勅許公共財務会計協会)						
②各種学会における活動状況						
東北公益文科大学・関西学院大学・名古屋工業大学・早稲田大学の教員による2023年度(第4回)「公益学+経済学」ワーク ショップを主催(2024年3月10日、東北公益文科大学)(予定)						
3-3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有	種別:				
		令和3年度(2021年度)基盤研究 (C)(一般)採択(研究代表 者)		4,160,000 円 内2023年度配分額 300,000		
		令和5年度(2023年度)基盤研究 (C)(一般)採択(研究分担 者)		4,550,000 円 内2023年度配分額 500,000		
受託研究 関係	件数	契約先名		契約金額		
	2件	酒田市(施策外部評価関係)		公共経営研究所 研究所員に 報酬として支払い 円		
		酒田市(観光関係)		400,000 円		
民間機関 等共同研 究	件数	契約先名		契約金額		
	1件	株式会社丸高(2020-2024年度)		605,000 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 本年度で6年目となる調査研究業務受託(酒田市)「令和5年度酒田市観光に関する調査研究」に研究代表者として 取り組み、令和6年度以降も継続の予定である。 令和2年度から継続して、産学連携で株式会社丸高と共同研究「酒田市におけるコンパクトシティ化の検討」 に研究代表者として取り組み、研究成果をディスカッションペーパー(京都産業大学大学院経済学研究科)とし て公表した。現在、ディスカッションペーパーをベースとして学会誌に査読論文として投稿中である。					

氏 名		武田 真理子				
職位・コース		教授・地域福祉コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
総説・解説等						
1	研究・教育拠点としての庄内地域	『三田評論』	No. 1284, p. 9	2024年1月	武田真理子	
2	シンポジウムの開催趣旨と本学会 から発信されたメッセージ	『日本ニュージーランド学会誌』	第30巻, pp. 32-33	2023年8月	武田真理子	
3	就労的活動支援と就労的活動支援 コーディネーターの役割	『「ハタラク」で輝くー誰もが活躍する地域づくりー就労的活動支援 コーディネーターの活用と可能性』 (厚生労働省老人保健健康増進等事業「就労的活動支援コーディネーター等の活用に関する調査研究」報告書)	特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター, pp. 4-10	2023年3月	武田真理子	
国際会議発表論文等						
1	Analysis of foreign residents and social security in Japan	25th New Zealand Asian Studies Society Biennial International Conference University of Canterbury, New Zealand	Panel 7B 発表者	2023/12/1	武田真理子	対面
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	ニュージーランドから考える公益 社会の実現	日本ニュージーランド学会 第30 回研究大会 公開シンポジウム 「日本とニュージーランドの国際 交流～社会・経済・福祉の分野を 中心に～」(東北公益文科大学)	発表者	2023/6/17	武田真理子	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本ニュージーランド学会、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会						
②各種学会における活動状況						
日本ニュージーランド学会の会長として、理事会の開催をはじめとする学会運営及び研究会の開催、ニュージーランド研究の発信に貢献した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	○ 有 ○ 無		種別： 基盤研究C (H31年度～R5年度)		160,000 円	
			種別： 基盤研究C (R6年度～R9年度)		円	
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 「地域共創コーディネーター養成プログラム」の評価及び地域人材育成の方法に関する研究については、同プログラム運営委員会の協力を得て、これまでの9年間の記録作成と実績報告を整理し、地域人材育成の知見を発信するための書籍出版企画に着手した。同プログラムの研究及び人材育成の成果は、庄内南部定住自立圏合同研修、鶴岡市立朝日中学校「地域語り合い」や庄内町余目第一学区の地域課題解決の伴走支援とその記録などにも取り組んだ。また、2023年12月26日には総務省省「地域づくり人材の養成に関する調査研究会」のヒアリング調査が大学院で行われ、研究者及び総務省職員に対する成果と課題の報告を行った。					

氏名		温井 亨				
職位・コース		教授 観光・まちづくりコース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	水帳と水帳絵図を用いた近世都市の敷地変遷に関する研究 その1：湊町酒田給人町における享保16年から文化13年まで	日本建築学会大会学術講演梗概集	F2分冊(9015) 29-30	2023年	温井 亨	
総説・解説等						
1	新刊紹介：植田暁、陣内秀信、M. ダリオ・パオルッチ、樋渡彩著『トスカーナ・オルチャ渓谷のテリトリー—都市と田園の風景を読む』	都市史研究、都市史学会、山川出版社	10. pp. 132-133.	2023年	温井 亨	
2	総会記念講演後記：内発的まちづくり、むらづくりとしての歴史と文化	庄内町郷土史研究会々報	第13号、pp. 2-3.	2024年	温井 亨	
3	武蔵学園のプレストレスト・コンクリート—歴史的建築、キャンパスを目指して	『武蔵学園キャンパス100年の変遷—50年の保存・再生—から何を学び、残し、継承するか?』私家版、出版先探索中	pp. 10-11. 14P.	2023年	温井 亨	
4	武蔵学園のキャンパス・ランドスケープ—その意味と役割—	同上	pp. 4-5. 14P.	2023年	丸茂 喬・温井 亨	
5	人類の地球環境破壊に挑んだ建築家	荘内日報	11月3日	2023年	温井 亨	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	水帳と水帳絵図を用いた近世都市の敷地変遷に関する研究 その1：湊町酒田給人町における享保16年から文化13年まで	日本建築学会大会学術講演会		2023年	温井 亨	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本造園学会、日本建築学会、日本都市計画学会、和食文化学会、都市史学会、庄内町郷土史研究会、飽海地域研究会						
②各種学会における活動状況						
●日本造園学会：風景計画研究推進委員会委員(11/28ZOOM会議)。東北支部運営常任委員、東北支部運営委員会(メール会議2回、対面会議1回参加)、東北支部大会参加(5/27-28宮城県仙台市)、3/24庭園見学会参加。●日本建築学会：9/12-13全国大会(京都市、京都大学)の学術講演会で発表。●和食文化学会：第5回研究会参加(1/20オンライン)。●都市史学会：大会参加(12/16-17東京都、東京大学)。●庄内町郷土史研究会：総会参加(3月)? ●飽海地域史研究会：古文書研究会(週1回)参加。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別： 基盤研究(C)		274,810 円		
		種別：		円		
4. その他						
域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)					
	●青龍寺川開削者・工藤掃部家敷地住宅調査(鶴岡市社会教育課も参加)・茅葺き住宅実測(平面図、断面図制作)。●特別名勝松島ハンドブックのために四大観等の眺望点調査、原稿執筆。●井山武司著「太陽建築」出版記念シンポジウム『太陽建築がみちびく未来』に協力、講演。●酒田西高校との高大連携(3年ゼミが参加、村上調査含む計3回、結果を酒田市、西高とともに荘内日報に掲載)。●荘内日報・公益の風#29として、飽海地域史研究会等の活動を全国の都市史研究の中に位置付けて紹介。●遊佐町渋谷家庭園をドローンを使った写真測量で実測(ドローン撮影は広瀬研究室が協力)。					

氏名	澤邊 みさ子
職位・コース	教授・地域経営系・地域福祉コース
学会活動に関する業績	
①所属学会等 社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会、日本ニュージーランド学会、日本職業リハビリテーション学会、北ヨーロッパ学会	
②各種学会における活動状況 日本ニュージーランド学会：事務局長（2018年6月～）、会計（2021年6月～） 日本公益学会：事務局長（2022年6月～） 日本ニュージーランド学会2023年度研究大会を東北公益文科大学で開催（2023年6月17日）	
その他	
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市飛島における防災マップ作成のためのフィールドワーク調査

氏名	阿部 公一					
職位・コース	教授・政策コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)	開催形態
紀要等						
1	「私的」と「公的」の連想比較手法から公的年金の本質的意義を導出する年金教育教材の開発に向けて	東北公益文科大学 総合研究論集	第46号 37～61頁	2024年 (令和6年)	阿部公一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 日本年金学会 他						
②各種学会における活動状況 学会開催曜日が平日のため、授業を優先し、学会研究発表会には参加することができなかった。						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 国民年金に関する若年層の保険料未納や滞納問題を地域共通の社会的課題として捉え、その解決手法としての年金広報教育(年金広報政策)をゼミ生等と実践した。国民年金すごろくや年金教育用動画を開発して、地域・社会に向けて発信した。					

氏名		吳 衛峰				
職位・コース		教授・国際教養コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	満洲俳句の季語について の一考察—『樹水』に おける「北満季語解」を 中心に	東北公益文科大学 総合研究論集	第45号、 (1)-(12)頁	2023年7月31日 (令和五年)	吳衛峰	/
2	満洲俳句の季語について —南満洲を中心に	東北公益文科大学 総合研究論集	第47号、 (1)-(19)	2024年3月15日 (令和六年)	吳衛峰	/
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本比較文学会、東大比較文学会、日本近代文学会、東方学会、日本中国学会						

氏名		吳 尚 浩				
職位・コース		教授・観光まちづくりコース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	「庄内海岸松原再生計画の概 要とその意義—地域資源を継 続的に保全する「内発的なシ ステム」—」	日本海岸林学会・酒田大会	シンポジウムにて報 告		吳尚浩	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須)						
日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会 地区防災計画学会 庄内・社会基盤技術フォーラム(土木 学会認定CPDプログラム) 東北ジオパーク学術研究者会議						
②各種学会における活動状況						
◎ 学会開催・運営 ・10/28・29 日本海岸林学会酒田大会開催(大会実行委員)、シンポジウムパネリストとして登壇。 ○ 委員 ・庄内社会基盤技術フォーラム・運営委員 ○ 学会・研究会参加 ・日本海岸林学会・酒田大会・運営・参加(2023.10.28-29) ・地区防災計画学会シンポジウム<第43回研究会>オンライン開催・参加(2023.10.21) ・地区防災計画学会「第10回大会」オンライン開催・参加予定(2024.3.2)						
4. その他						
地域課題関係	<p>(地域課題解決のための研究・活動状況)</p> <p><とびしま未来研究所における研究活動> ○ 海ごみ問題解決へ向けての普及啓発と発生抑制に関する研究 ・庄内海岸における漂着物モニタリング調査の分析にもとづく効果的な人的資源配分とネットワーキングにつ いての研究 ⇒来年度から、正式に「美しいやまがたの海プラットフォーム」において、本テーマについて調査研究を推進す ることと合意を得た段階。来年度から本格的に実施予定。 ・「第3次山形県循環型社会形成推進計画」のアクションプログラム策定に関する研究 ⇒SDGs科目「海ごみ問題と循環型社会のデザイン」(秋学期)と連動して実施。山形県循環型社会推進課、庄内 総合支庁環境課、河川砂防課、NPOパートナーシップ、鳥海山・飛鳥ジオガイドのメンバーを対象に報告会を 実施し、アクションプログラム案を報告。 ・海岸漂着物対策における地域協議会と地域計画のあり方に関する研究(英文雑誌への投稿) ⇒投稿準備中</p> <p><地域共創センター防災・環境部会に関連した研究・調査活動(プロジェクト型応用演習(地区防災)と連動し て実施)> ○ 地域コミュニティにおける防災の仕組みづくり - 飛鳥における観光面の防災への取り組み・ジオパークの防 災学習の活性化に向けての現状調査・および提案(とびしま未来研究所と連携) →プロジェクト型応用演習(地区防災)と連動して、住民ヒアリング調査と避難路の避難時間計測を実施。酒田 市危機管理課や鳥海山・飛鳥ジオガイドのメンバーを対象に報告会を実施し、調査内容と提案を報告。</p> <p><庄内海岸林保全に関する研究活動> ○ 庄内海岸林の保全活動とネットワーク化に関する研究 ・庄内海岸松原再生計画の効果的な推進体制に関する研究(R5秋・日本海岸林学会・酒田大会のシンポジウムに て報告、公益の森づくりを考える会における共同研究として「海岸林学会誌」に投稿準備中) ・GISを活用した庄内海岸の森林管理に関する調査研究(山形県森林研究研修センター、森林総合 研究所、朝日航洋(株)等との共同研究) →継続実施。 ○ 太平洋岸の海岸防災林復興状況の調査 ・仙台地区海岸防災林・仙台市荒浜工区「万里の森」の保育状況の視察の実施。</p> <p><生き物とからだにやさしい農と食のあり方についての研究> ○ 飯森山地区水田におけるヨーロッパカブトエビ・カイエビ・タマカイエビの保全に関する研究(カブトエビ 研究会) → 例年通り、5月末にカブトエビ生息調査を実施</p>					

氏名	松田 憲
職位・コース	教授・国際教養コース
学会活動に関する業績	
①所属学会等 日本比較文化学会、大学英語教育学会、全国語学教育学会、外国語教育メディア学会 Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association	
②各種学会における活動状況 学会や研究会等に参加	

氏名	古山 隆					
職位・コース	教授・経営コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順に 本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	ASRの細粒部に含まれる構成物の調査	東北公益文科大学総合研究論集	第45号, p.113-131	2023年5月26日	古山 隆	
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	自動車リサイクルの変遷	自動車技術会春季大会学術講演会・55自動車用材料のリサイクル技術に関する諸問題		2023年5月26日	古山 隆	
2	北海道地域のいわゆる砂白金について(その4)	資源素材学会2024年度春季開会【企画講演】鉱業史		2024年3月19日	大石 徹、古山 隆	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須) 資源・素材学会、環境資源工学会、自動車技術会、日本鉱業史研究会						
②各種学会における活動状況 環境資源工学会：評議員 自動車技術会リサイクル技術部門委員会：幹事						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有		種別： 基盤研究(C)		0円	
			種別：		円	

氏名	広瀬 雄二					
職位・コース	教授・メディア情報コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順に 本人も含め記入)	開催 形態
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	3Dアニメーションを用いた手話学習サイトの提案	情報処理学会全国大会	第86回	2024(R6)03-15	及川桜花, 広瀬雄二	対面
2	仮想空間での発表資料展示会の提案	情報処理学会全国大会	第86回	2024(R6)03-17	斎藤翼, 広瀬雄二	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 情報処理学会 デジタルアーカイブ学会						
3. 研究資金獲得状況						
受託事業 関係	件数		契約先名		契約金額	
	1件		科学技術振興機構(JST) ジュニアドクター育成塾実施責任者		10000000円	

氏名	森元 拓					
職位・コース	教授・政策コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著者名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
総説・解説等						
1	コメントへのリプライ——美濃部の法思想的意義に関する若干の覚書	法の理論	42号	2023年	森元 拓	/
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	法の継受における「国体」の役割と課題	北大法理論研究会		2023年	森元 拓	対面
2	普遍と特殊のあいだ——法の継受における「国体」の功罪	日本法哲学会		2023年	森元 拓	対面
3	今野元『上杉愼吉』合評会	戦時法研究会		2024年3月予定	森元 拓	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等 日本法哲学会、IVR(国際法・社会哲学連合)、法制史学会、大学教育学会、北大法理研、法理学研究会						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	○有・無		種別：基盤研究C		900000 円	
			種別：		円	

氏名	門松 秀樹					
職位・コース	教授・政策コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	「西洋と日本の『プラントハンター』が描いた夢」に関する報告	東北公益文科大学総合研究論集	第45号 (133 - 141頁)	2023年	門松秀樹	/
2	屯田兵の設置と開拓使	法学研究(慶應義塾大学法学部)	第97巻第1号	2024年3月刊行予定	門松秀樹	/
総説・解説等						
1	樋口雄彦著『明治の旧幕臣とその信仰』書評	日本歴史	2024年3月号 (102 - 104頁)	2024年	門松秀樹	/
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須) 日本政治学会、日本法政学会、明治維新史学会、時代考証学会、慶應法学会						
②各種学会における活動状況 時代考証学会運営委員						

氏 名		山本 裕樹				
職位・コース		教授・メディア情報コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	ニューヨークのインターネット望遠鏡のリプレイスについて	東北公益文科大学 総合研究論集	第46号 pp. 131-140	2024年 (令和6年)	山本裕樹	
2	INDI LibraryとRaspberry Piを用いた小型インターネット望遠鏡の実現	秋田大学教育文化学部 研究紀要	自然科学第79集 (2月予定)	2024年 (令和6年)	上田晴彦、山本裕樹、 戸田晃一、高田淑子、 成田堅悦、綿谷健佑	
3	人生いろいろ、 望遠鏡もいろいろ-6-	富山県立大学紀要	第34巻 (3月予定)	2024年 (令和6年)	戸田晃一、櫛田淳子、 松本榮次、中西裕之、 上田晴彦、山本裕樹	
国際会議発表論文等						
1	Activities of Internet Telescope in Astronomical Education	Asia-Pacific Regional IAU Meeting 2023 (APRIM2023)		2023年 (令和6年)	山本裕樹、他11名	対面
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	いつでも・どこでも・だれでも天 体観測 ～インターネット望遠鏡の体験～	学都「仙台・宮城」 サイエンス・デイ2023		2023年 (令和6年)	インターネット望遠鏡プロジェ クト、山形県立鶴岡高等学校	対面
2	いつでも・どこでも・だれでも天 体観測	ダ・ヴィンチ祭2023		2023年 (令和6年)	山本裕樹	対面
3	NY望遠鏡修理と山形県立鶴岡南高 校における取り組み	第13回インターネット望遠鏡 プロジェクト・シンポジウム		2023年 (令和6年)	山本裕樹	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本物理学会						
3-3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有(無)		種別： 基盤研究(C) 期間延長		0 円	
			種別： 基盤研究(C) (分担) 期間延長		0 円	
			種別： 基盤研究(C) (分担)		100000 円	
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市地域デジタル人材育成委託事業「スーパームーン観望会」を開催(令和5年8月30日、公益大)					

氏名	小野 英一					
職位・コース	教授・政策コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	克雪・利雪と「公益」につ いて―「公益学」に依拠し た分析―	「第35回ふゆトピア研究発 表会」応募論文 (国土交通省北海道開発 局)	21-26頁	2024年 (令和6年)	小野英一	
総説・解説等						
1	山形県酒田市における公益 のまちづくり	日本地域政策学会ニュース	No. 278	2023年 (令和5年)	小野英一	
2	メディア文化論から切り開 く中心市街地の現実と再生 (『「グリーン・ハウス」 があった街―メディア文化 の街はどこへ向かうのか ―』書評)	図書新聞	3623号	2024年 (令和6年)	小野英一	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須)						
地方行政実務学会、日本公益学会、日本地域政策学会、地域活性学会、日本行政学会、日本公共政策学会、自治体学会、 非営利法人研究学会						
②各種学会における活動状況						
地方行政実務学会：理事 日本公益学会：理事 日本地域政策学会：理事、東北支部長						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	○有・無	種別：		円		
		種別：		円		

氏名	白畑 真由美					
職位・コース	准教授・地域福祉コース					
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須)						
・日本ケアマネジメント学会 ・二本子ども虐待防止学会						

氏名	渡辺 暁雄					
職位・コース	准教授・観光まちづくりコース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	エヴァンゲリオン・ノート I —シンジ—庵野—われわれ 関係性再構築の物語—	東北公益文科大学総合研究論集	47号	2024年(令和6年) 3月発行予定	渡辺暁雄	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本社会学会, 日本生活学会, 社会文化学会, 日本公益学会						
②各種学会における活動状況						
大会・研究会・部会・特別企画等へのオンライン参加, 投稿論文の査読。						
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 鶴岡市加茂地区の民間信仰研究, 特に「塞土の神」と各町内の関係性について調査中。					

氏名	東江 日出郎					
職位・コース	准教授・国際教養コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	
学協会誌等						
査読無し学術論文等						
1	ミンダナオ和平の現在 (2022年11月—2023 年5月) 東江 日出郎	東北公益文科大学総合研究論集 第45号	第45号 (p. 55-74)	2023年 (令和5年)7月	東江 日出郎	
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本平和学会、日本人間の安全保障学会、国際東アジア共同体学会、東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会、日本臨床政治学会						
②各種学会における活動状況						
人間の安全保障学会監事を務めているため、神戸大学での学会並びに理事会に参加。各種部会での発表を傍聴し、コメントを行う。東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会では、事務局長として、HPの運営やシンポジウムの運営、ピラ作り、理事会出席を行う。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有、無	種別： 科研費共同研究		370万 円		
		種別： 基盤研究C(一般)		円		

氏名		広崎 心				
職位・コース		准教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	製品開発力とそれによって獲得した戦略的提携の有用性	晃洋書房		2023年8月	共著	
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	ラジコン草刈り機の共同利用モデルの構築	亜東経済国際学会研究叢書	第25号	2024年3月	広崎心(単独)	
2	近年の医薬品企業の不祥事に対する行政処分の妥当性に関する考察	日本経営倫理学会誌	第31号	2024年3月	広崎心(単独)	
3	オンラインズドジェネリックの存在意義に関する考察	インテリジェンス・マネジメント	第14号	2024年3月	広崎心(単独)	
紀要等						
1	産官学民の連携による学生教育の実践	公益論集	第47号	2024年3月	広崎心(単独)	
国際会議発表論文等						
1	Construction of Remote Control Mower Utilization Model Through Joint Industry-Government-Academia Collaboration	第62回「東北亜の福祉ビジネスと観光産業経営」国際学術会議	韓国・釜山	2023年7月8日	広崎心(単独)	対面
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	近年のジェネリック医薬品企業による不祥事の特徴と発生要因	第31回 日本経営倫理学会研究発表大会	東京	2023年6月11日	広崎心(単独)	対面
2	医薬品業界における不祥事例に対する行政処分の妥当性	第61回産業学会全国大会	福岡	2023年6月17日	広崎心(単独)	対面
3	地産地消と意味的価値を視野に入れた大学生による商品開発の実践	第63回「東アジアの観光・地域振興と産業経営」国際学術会議	オンライン	2023年12月2日	広崎心(単独)	オンライン
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須)						
産業学会、日本マーケティング学会、商品開発・管理学会、実践経営学会、日本経営倫理学会、コンペティティブ・インテリジェンス学会、日本ファルマアライアンス協会						
②各種学会における活動状況						
商品開発・管理学会 附属研究所担当 理事 日本ファルマアライアンス協会 渉外企画部 理事						
3. 研究資金獲得状況						
受託研究 関係	件数	契約先名		契約金額		
	2 件	ホテルリッチ酒田		20,000 円		
		酒田米菓		20,000 円		
その他 部資金	件数	契約先名		契約金額		
	1 件	荘内銀行ふるさと創造基金		235,000 円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・産官学民によるラジコン草刈り機の有効活用モデルを考案し論文化した(査読付き論文・公益論集) ・ゼミ生を交えた商品開発(環境に配慮したオランダせんべい)、酒田花火ショーにおけるカフェ運営など					

氏名	西村まどか		
職位・コース	准教授・メディア情報コース		
学会活動に関する業績			
①所属学会等			
IEEE, 日本物理学会, 情報処理学会			
②各種学会における活動状況			
会員			
3. 研究資金獲得状況			
科研費関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有○・無	種別： 種別：	円 円

氏名	Edmund Fec					
職位・コース	講師・国際教養コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
紀要等						
1	Tourism English : An Assessment of Teaching Materials of Relevance for Training Regional Tour Guide Interpreters by Edmund Fec	東北公益文科大学総合研究論集 : Forum 21 / 総合研究編集委員会 編 (45), 37-53, 2023 酒田 : 東北公益文科大学	45号	2023年	Edmund Fec	/
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	Grow your Mind: Highlights from JALT 2023 ~ The 49th International Conference (Ed Fec and others)	Tamagata JALT, Yamagata-shi Tobu Community Center		6-Jan-24	Ed Fec and others	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
1. 全国語学教育学会 (JALT: The Japan Association for Language Teaching) . 2. TESOL International Association.						
②各種学会における活動状況						
I attended 3 Yamagata JALT meetings (in June 2023, October 2023 and January 2024) and the 2023 JALT Conference which I attended online (November 25-26, 2023). I was the main presenter at the Yamagata JALT January 2024 meeting.						

氏名	植田 和憲					
職位・コース	准教授・メディア情報コース					
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の 場合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
国際会議発表論文等						
1	DTN Routing Method based on Records of Data Transmission Paths	Advances on Broad-Band and Wireless Computing, Communication and Applications	273-281	2023年(令和5年)	Kazunori Ueda, Kouki Yano	対面
3-2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須)						
電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE						
②各種学会における活動状況						
情報処理学会モバイルコンピューティングと新社会システム研究会およびマルチメディア通信と分散処理(DPS)研究会において、運営委員として論文誌編集委員等で貢献しました。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	○有・無	種別:			円	
		種別:			円	

氏名	小関 久恵					
職位・コース	准教授・地域福祉コース					
学会活動に関する業績						
①所属学会等						
大学教育学会、日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会						
②各種学会における活動状況						
日本社会福祉教育学会理事						
研究資金獲得状況						
受託事業 関係	件数	契約先名		契約金額		
	1件	酒田市(令和5年度酒田市総合計画(前期計画)施策行政評価(外部評価))		円		
				円		
その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 主な活動としては、酒田市日向地区においてゼミ活動を通じた課題解決に向けた活動を行った。コミュニティセンターに開設したコミュニティカフェ「日向里かふえ」における、子どもの遊び場(居場所)の企画運営(にっこりランド)を定期的に開催(全8回)、秋祭り等地域行事への協力・参画を行った。 また、令和3年度に策定した同地区地域づくりビジョンの行動計画(全3年計画)のうち、特に「移動するコミュニティ」(アウトリーチ型の小さなコミュニティ形成)の取り組み、「日常生活を支える仕組みづくり」の検討について、コミュニティ振興会への協力・共創により2年目の計画遂行に携わった。 なお、同地区は農林水産省農山漁村振興交付金「農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業」(上限1000万円×事業年数)に申請しており、採択されれば令和6年度より事業を展開していく予定である。					

氏 名		松尾 慎太郎				
職位・コース		准教授・経営コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	第8章 共同監査(『監査 人のローテーションに関する 研究』所収)	同文館出版	pp. 141-159	2023年 (令和5年)	松尾慎太郎	/
2	第7章 オーストラリアに おける非財務情報の開示と 保証(『開示情報に対する 保証の枠組み』所収)	同文館出版	pp. 171-198	2024年 (令和6年)	松尾慎太郎、小澤康裕	/
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Toulmin モデルによる無限 定適正意見以外の監査報告 書の分析	現代監査	33号、 pp. 112-124	2023年 (令和5年)	松尾慎太郎	/
査読無し学術論文等						
1	アカデミック・フォーサイ ト: 言語行為としての監査 報告: 監査的思考の表出	会計・監査ジャーナル	36巻3号、 pp. 148-154	2024年 (令和6年)	松尾慎太郎	/
口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	監査上の主要な検討事項 (KAM)の記載内容に関す る分析: 関係会社株式の減 損に関する事例	日本監査研究学会		2023年	松尾慎太郎	対面
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等(必須)						
日本会計研究学会、日本監査研究学会、国際会計研究学会、アメリカ会計学会。						
②各種学会における活動状況						
全て会員。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無	採択状況		採択金額		
	有・無	種別: 基盤研究(B)		(分担) 200,000 円		
		種別: 若手研究		900,000 円		

氏 名		渡辺 伸子				
職位・コース		講師・経営コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	日本語版経済的脅威尺度 (FTS-J) の作成	心理学研究	94巻 pp. 319-328	2023 (令和5)	渡辺伸子・沼田真美	/
紀要等						
1	家計管理行動の収集と分類 ——文献調査および面接調 査による検討——	東北公益文科大学総合研究論集	46号 pp. 63-88	2024 (令和6)	渡辺伸子	/
2	従来の教職課程科目「教育 心理学」の教授内容の概観 ——教職課程コアカリキュ ラムとの対応に着目して——	東北公益文科大学総合研究論集	47号	印刷中	渡辺伸子	/
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本心理学会, 日本パーソナリティ心理学会, 日本青年心理学会, 日本応用心理学会, 日本教育心理学会						
②各種学会における活動状況						
今年度, 日本教育心理学会に入会した。						
3. 研究資金獲得状況						
科研費関係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		種別: 研究活動スタート支援		2,600千円	
			種別: 若手研究		3,770千円	

氏 名		張 紅				
職位・コース		助教・観光まちづくりコース				
学会活動に関する業績						
①所属学会等						
日本地理学会, 東北地理学会, 地理空間学会						
②各種学会における活動状況						
2023年5月, 東北地理学会春季大会参加 2023年7月, 第16回地理空間学会大会参加 2023年9月, 日本地理学会秋季学術大会参加 2024年3月, 日本地理学会春季学術大会参加						
③学会賞等の受賞状況						
2023年5月, 東北地理学会研究奨励賞(長谷川賞)						

氏 名		ノヴァコフスキ カロル ピオトル				
職位・コース		講師・メディア情報コース				
1. 研究発表						
整理番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号頁(-)	発表・発行西暦 年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合 は論文等に記載した順 に本人も含め記入)	開催 形態
著書(翻訳含む)及び辞書等						
1	Moje Badania nad Językiem Ainów przy Pomocy Komputera / My Computer Research on the Ainu Language / アイヌ 語に関するコンピューターと 人工知能を用いた研究	Jadwiga Rodowicz-Czechowska (編). 『Inne, a jednak Dziady: Jak Mickiewicz wę drował do Ainów / Other, and yet another, Forefather's Eve: How Mickiewicz travelled to the Ainu / 「祖霊祭」による祖霊 祭: アイヌへ旅したミツキ エーピチ』	pp. 65-68 / 155- 158 / 243-248	2023年	Michal Ptaszynski, Karol Nowakowski	
学協会誌等						
査読有り学術論文等						
1	Adaptation of a multilingual speech representation model for a new, underresourced language via multilingual fine-tuning and continued pretraining	Science Talks	Volume 8, December 2023, 100249	2023年	Karol Nowakowski, Michal Ptaszynski, Kyoko Murasaki, Jagna Nieuważny	
国際会議発表論文等						
1	Token and Part-of-Speech Fusion for Pretraining of Transformers with Application in Automatic Cyberbullying Detection	The Fourth Workshop on Processing Emotions, Decisions and Opinions (EDO 2023): Proceedings of LTC 2023	pp. 201-205	2023年	Nor Saiful Azam Bin Nor Azmi, Michal Ptaszynski, Juuso Eronen, Karol Nowakowski, Fumito Masui	オンライン
2	Improving Polish to English Neural Machine Translation with Transfer Learning: Effects of Data Volume and Language Similarity	Proceedings of the 1st International Workshop on Multilingual, Multimodal and Multitask Language Generation (Multi3Generation)	-	2023年	Juuso Eronen, Michal Ptaszynski, Karol Nowakowski, Zheng Lin Chia, Fumito Masui	対面
3	Improving Low-Resource Speech Recognition through Multilingual Fine-Tuning with Language Identifiers and Self-Training	Proceedings of the 35th Conference on Computational Linguistics and Speech Processing (ROCLING 2023)	pp. 63-70	2023年	Karol Nowakowski, Michal Ptaszynski	対面
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)						
1	危機言語や方言のための情 報処理技術について (ポスター掲示によるゼミ 研究の紹介)	鶴岡サイエンスパーク まつり2023	-	2023年	Karol Nowakowski, 田雨冉, 佐々木美里, 尾内陸, 菅原葵,	0
2. 学会活動に関する業績						
①所属学会等						
情報処理学会(役割: 正会員), Language Acquisition & Understanding (LAU) / 言語獲得と理解研究会(役割: 研究会委員), Frontiers in Artificial Intelligence (Frontiers Media出版の学術雑誌)(役割: 査読編集者), Scientific Reports (Springer Nature出版の学術雑誌)(役割: 査読者)						
②各種学会における活動状況						
論文査読(3件)						
3-3. 研究資金獲得状況						
科研費関 係	申請の有無		採択状況		採択金額	
	(有) 無		種別: 若手研究(2022-04-01 - 2027-03-31)		4,680千円	
		種別:		円		
4. その他						
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 専門演習にて、地域の無形文化財である方言に関する研究を指導している					